

学校長あいさつ

宮崎大学教育学部附属中学校 校長 金丸 賢一

本校は、宮崎師範学校の附属中学校として、昭和22年に創設され、本年度74年目を迎える歴史と伝統のある学校です。この間、12,655名の方々が、この学舎を卒業され、県内はもとより国内外の各界、各方面で活躍されています。

令和3年度は、新しく168名の新1年生を迎え、15学級（特別支援学級3学級を含む）、499名の生徒たちとともに、新しくスタートいたしました。

本校の使命

1 教員研修学校として

教育学部附属学校として、教育実習を受け入れる教員養成のための学校としてだけでなく、教職大学院と一体となって、現職教員も含めたあらゆる世代の職能成長を支える教員研修学校

2 教育研究学校として

時代の要請に応え、県内公立学校や行政機関、大学と協働して、新たな教育課題の解明に向けて、理論を構築し、実践研究を重ねて、広く成果を発信しながら時代をリードする学校

3 地域に貢献する学校として

地域に根ざしたテーマや、県内の新しいモデルとなるような社会に開かれた学校運営について研究して発信する、宮崎県に貢献する学校

我等の目標

- 自発的に学び、真理を探究しよう
- 勤労を愛し、お互いに協力しよう
- 気品を保ち、健康を増進しよう

本校には、全校生徒、全職員がこれまで受け継がれてきた伝統ある目標、いわゆる「我等の目標」があります。この目標実現のために、生徒たちは様々な活動を自主的に行い、多くのひと、もの、ことがらに出会い、真理を探究し続けています。

これらの学び合いの中で、生徒一人ひとりが豊かな人間性を培い、本校の校歌の歌詞にもある「つねに高く北斗のように」輝き、将来、県内外で活躍できる社会人へと一歩ずつ確実に成長していくことをめざしていきます。

本校のキャリア教育をとおして育てたい7つの資質・能力

無数に散らばる学びのチャンス（機会）を自分でつかみ、生徒それぞれの夢や目標を実現するための力（以下、7つの力）を身に付けさせ、その学んだことを新たなステージで役立てていくことができるよう、本校の教育活動のあらゆる場面で『仕掛け』していきます。また、学校行事や教育活動の中で、多様な人や考え方に数多く触れさせる異年齢集団（ファミリー活動）を意図的に設定することで、先輩たちのリーダーシップが、先輩へのあこがれを通して学び続ける後輩の姿と変貌し、これらのひとつひとつの営みが相乗効果となって、生徒一人ひとりの成長を加速させるものとなっていきます。

こだわりや面白さをもって

未来や目的に対して

自分や自分の成長を見つめて

考え方を学び、自分と社会に

やりぬく力

みとおす力

ふりかえる力

やくだてる力

出会いを大事に、協働することから

人権を守り合って困りごとをみつける

気品を保って、学校を背負う

つくりだす力

ともにある力

こたえる力